

ミニガイド

- ①大館神明社・神明幼稚園
- ②松下村塾
- ③市立第一中学校
昭和53年に校舎を改築。学級数32、生徒数1,194人で、市内最大規模の学校です。
- ④市立城西小学校
昭和33年9月に、古館、片山両小学校を廃止して新たに同校を創立しました。昭和34年4月城南小学校区の一部を編入。現在の生徒数614人です。
- ⑤八坂神社
- ⑥大館広域消防本部(署)
- ⑦大館警察署
- ⑧建設省大館国道出張所
- ⑨城西体育館
昭和57年12月にオープン。61年度は約24,000人が利用しました。
- ⑩婦人会館
昭和57年4月にオープン。「女の館」として、多くの婦人に利用されています。
- ⑪農業会館
- ⑫北秋田土木事務所大館出張所
- ⑬大館地区総合事務所
- ⑭大館農業改良普及所
農業試験場大館分場

マイタウンガイド

～城西地区編～



▲城西小学校の子どもたち



山口県萩市に、吉田松陰の教育の場だった「松下村塾」があります。その「松下村塾」が五十九年十月に北神明町に模築されました。同年七月に亡くなつた竹村吉右衛門氏（大館鳳鳴高校振興会が建てたもので、中十五期卒）の遺志と寄付により、松陰と大館とは、いくつかの関わりがあります。それは、松陰が東北旅行中に大館で一泊していること、

たずね歩き 松 下 村 塾



▲八坂神社祭典の際の「みこし巡行」



大館出身の南部藩士江幡五郎を最高の友として啓発されたこと、大館の儒学者狩野深蔵の著述「三策」を松下村塾で出版し教材にしたことなどです。

振興会では、松陰の思想はこのよううに大館出身の先覚者の影響が甚大であったことと、竹村氏の郷土愛を語り継ぐために、全国で四番目に模築しました。

大館出身の南部藩士江幡五郎を最高の友として啓発されたこと、大館の儒学者狩野深蔵の著述「三策」を松下村塾で出版し教材にしたことなどです。

振興会では、松陰の思想はこのよううに大館出身の先覚者の影響が甚大であったことと、竹村氏の郷土愛を語り継ぐために、全国で四番目に模築しました。

片山にある「八坂神社」はその名の示すとおり、京都市東山区祇園町の八坂神社を分祀したものとされ、嘆いて、主神に素盞鳴尊、副神に木花媛命を祀っています。むかし大館地方では、村々のお祭

八坂神社と相撲とキユウリ

りには奉納相撲が必ず行われていました。そのうちでも一番有名なのが、八坂神社の奉納相撲で、三十年ほど前までは祭典の官相撲として続けられていました。また、片山地区には力自慢の伝説が多く伝わっていて、特に下総家の先祖三十郎（相撲の名「かけ放し二度右衛門」）の話が有名です。

八坂神社の氏子はキユウリを食べません。それは、素盞鳴尊が荒神であるため島流しにされ、その途中、海が荒れて難破しそうになつたときに、助けてくれた船がキユウリを積んでいたので、八坂神社の氏子はキユウリを奉納し、一切キユウリを食べないのだといわれています。

(大館市史第四巻)